

# 平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」第三四半期 活動報告！！

平成30年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成30年度共同研究「機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発」を開始しました。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の4点です。

- ① 教材開発能力の習得。
- ② 人材育成能力の習得。
- ③ 7項目の現場管理能力の習得。  
「工程管理」「作業管理」「品質管理」「原価管理」「安全衛生管理」「作業指導」「設備管理」
- ④ 国家試験技能検定機械加工特級の取得。

この第三四半期では、企業から参加されている方達に「自力での教材を開発」と「講義の運営」していただきました。この経験の中、共同研究の目的である「教材開発能力」と「人材育成能力」が目に見えて付いてきたと思います。また、北九州マイスターの方にお越しいただき、「現場管理」「現場での人材育成」といった現場に則した内容を講演していただきました。さらに、国家試験技能検定機械加工特級の受験準備についても近々の3年間分の分析が終わりました。あわせて、今回の共同研究の中間報告としてその内容を「PTU フォーラム 2018」で発表しました。(文責 八崎)

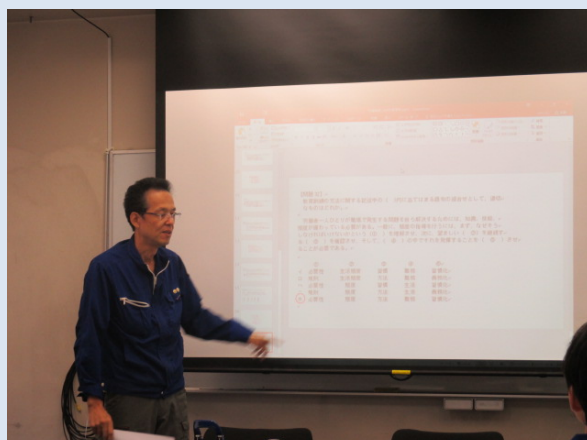
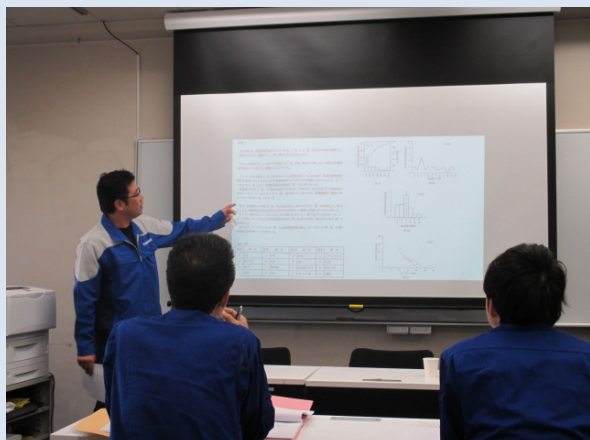
共同研究の名称：機械加工技能検定1級取得者の技能向上に対する支援の為の教材開発  
共同研究の期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日  
共同研究のメンバー：小島勝己、柴崎悠太、大庭英利、黒木猛、斉藤哲也、楠元智久、寺本裕子、八崎透



北九州マイスターによる講演



PTU フォーラム 2018 での中間報告



企業参加者による講義の運営